

学年	教科等	単元名	児童	場所	指導者
2年	国語科	「お話を読んで、 かんそうを書こう」	2年1組13名	2年1組 教室	伊月 真由美

育てたい資質・能力

◎国語科において育成を目指す資質・能力から本時にかかわる主な資質・能力

言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力
(思考力・判断力・表現力等)

〈本時にかかわる主な資質・能力〉

言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力

1 単元について**(1)単元の目標と評価規準****【単元の目標】**

- ◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き、それをもとに感想を書き表すことができる。
- 人物の行動や場面の様子などについて、想像を広げながら読み、感想をもつ力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

本単元は、学習指導要領「1.2 学年」の内容

- ◎【C 読むこと(1)】のオ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと
- ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと
- エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと

を受けて設定したものである。

中心教材の「スイミー」は、主人公スイミーの行動によって場面が展開していく。文章は、スイミーの行動に着目しやすく書かれているので、スイミーの行動を通して物語の展開を押さえていくことが無理なくできるだろう。

【評価規準】

【国語への 関心・意欲・態度】	【読む能力】	【言語についての 知識・理解・技能】
・書かれている場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。	・場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読んでいる。 ・自分の思いや考えをまとめ、発表し合っている。	・意味による語句のまとまりに気付いて文や文章を書いている。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、読書を好む子が多い。図書室で本を借り、友達と本の話をしていることもある。音読では、かなり正確に読むことができるようになり、人物の気持ちを考え、工夫して読めるようになってきている。

本単元では、登場人物の行動や会話から好きな場面を選び、感想を書く。また並行読書の本の好きな場面を選び、感想を書いて紹介することで、もっと物語を読みたい、と読書の楽しさに気付かせたい。

(3) 指導の手立て

教科書教材で学んだことを並行読書にも生かし、物語の感想を書くことで、想像を広げて読み、物語を楽しみながら読むことができるように工夫する。

ここでは、教科書教材スイミーを学習し、並行読書にその学習を生かす方法を使つての学習構成を考えた。まずスイミーの行動をポイントに感想を書く。それを並行読書で行う。次に会話文で同様に行う、最後に感想ブック作りも同様にする。学級の子どもの実態を考慮し、単位時間交互に2つの教材を扱うのではなく、内容で区切りをつけて行うことにした。そうすることで、より教科書教材と並行読書と、子どもの思考が切り替えやすくなると考えた。

並行読書を選ぶにあたり、子どもがスイミーと並行読書を交互に、スムーズに読み進められるように考えた。そのため、スイミーの作者レオ＝レオニの作品であること、主人公に名前が付いていること、行動と会話文とで成り立っていること、物語の展開がはっきりしており、子どもに分かりやすいことを基準に選んだ。

①学習の最初に、教師のモデルを提示し、学習のゴールのイメージや見通しを持たせる。そして、「魅力を伝えたい」「やってみたい」「読んでみたい」という意欲を持たせる。

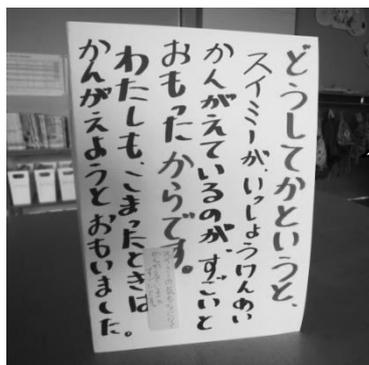
②感想ブック

②感想ブックに書く

- ・表紙
- ・主人公の紹介
- ・物語から文章を書き抜く。
- ・理由と感想を書く。



③感想交流



③友達の感想ブックに付箋を用いて、感想を書く。

- ・書いてもらい励みとする。
- ・書いた子の評価につなげる。

次	時	○学習活動	教師の評価規準（評価方法） ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
一次 (出会い・学習計画)	①	○レオ＝レオニ作の本と「感想ブック」を紹介する。 ○レオ＝レオニの作品に興味を持ち、「感想ブック作り」の学習計画を立てる。 ○スイミーを読む ・初発の感想を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">◎登場人物の行動や会話に気を付けて読み、「感想ブック」をつくろう。</div>	◇教師の見本を見て、学習の見通しをもつ。 ㊦物語に描かれている世界に浸りながら、お気に入りの場面などを見つけて、登場人物の行動や会話から想像を広げながら読もうとしている。(観察)
	②	○文の構成を知る ○あらすじをつかむ。 ○1場面を読む。 ・スイミーの紹介を読む。	㊦自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。(観察・発言・付箋) ㊦読物語の中の好きなところについて、自分の感想と理由を紹介している。(発言・教科書・マイブック)
二次 (教材文の追求)	③	○2・3・場面を読む。 ・スイミーの行動から場面の様子を読み取り線を引き、主人公の気持ちを考え、それに対する自分の感想を付箋に書く。	㊦自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。(観察・発言・付箋) ㊦読物語の中の好きなところについて、自分の感想と理由を紹介している。(発言・教科書・マイブック)
	④	○4・5場面を読む。 ・スイミーの行動から場面の様子を読み取り線を引き、主人公の気持ちを考え、それに対する自分の感想を付箋に書く。	㊦自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。(観察・発言・付箋) ㊦読物語の中の好きなところについて、自分の感想と理由を紹介している。(発言・教科書・マイブック)
	⑤	○並行読書（マイブック）を読む。 ・主人公の行動から場面の様子を読み取り線を引き、主人公の気持ちを考え、それに対する自分の感想を付箋に書く。	㊦自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。(観察・発言・付箋) ㊦読物語の中の好きなところについて、自分の感想と理由を紹介している。(発言・教科書・マイブック)
	⑥	○4・5場面を読む。 ・スイミーの会話から場面の様子を読み取り線を引き、主人公の気持ちを考え、それに対する自分の感想を付箋に書く。	㊦自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。(観察・発言・付箋) ㊦読物語の中の好きなところについて、自分の感想と理由を紹介している。(発言・教科書・マイブック)

三 次 (活 用 ・ ま と め)	⑦ 本 時	○並行読書（マイブック）を読む。 ・主人公の会話から場面の様子を読み取り線を引き、主人公の気持ちを考え、それに対する自分の感想を付箋に書く。	関自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。（観察・発言・付箋） 自感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、本や文章を読んで感想を書く際に用いている。（付箋）
	⑧	○スイミーで、一番伝えたい感想を選び、書き抜き、理由を書く。	関物語を読んで、自分の思いを持つことに強く影響した、文章の中の大事な言葉や文を見つけて、書き抜いている。（教科書・マイブック）
	⑨	○並行読書（マイブック）で、一番伝えたい感想を選び、書き抜き、理由を書き、感想ブックを完成させる。 ・好きなところを書き抜く ・感想の理由 ・好きな場面の絵	関自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。（観察・発言・付箋） 関物語を読んで、自分の思いを持つことに強く影響した、文章の中の大事な言葉や文を見つけて、書き抜いている。（教科書・マイブック）
⑩	○感想ブックの交流をする。 ・同じ本のグループで ・違う本のグループで	関物語の中の好きなところについて、自分の感想と理由を紹介している。（発言・教科書・マイブック） 関文章を読んで、互いの思いや感想を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしようとしている。（観察・発言）	

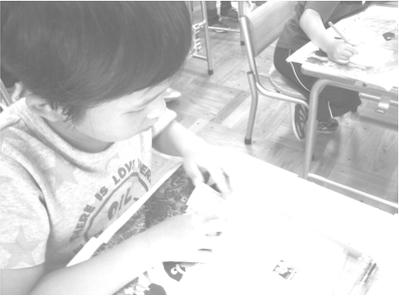
3 本時の学習

(1) 本時の目標

並行読書を読み、主人公の会話から想像を広げ、その感想を自分の気持ちを表す言葉で表現することができる。

(2) 本時の展開【7時間扱い7／10時間目】*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	子どもの活動	思考	□教師の働きかけ ◆評価（評価方法）
導 入 5 分	1 前時の振り返り □4・5の場面の会話に注目したよ。 □自分の言葉で感想を書いたよ。 2 課題を確認する。	全体	□会話に着目させる。
	マイブックを読んで、お気に入りの会話のところを選び、感想を書こう。		
展 開	3 並行読書（マイブック）の会話文に着目し、お気に入りのところを選び、感想を付箋に書いて貼る。		

展開 3 5 分	<p>4 教科書教材で学んだ、音読する時に、工夫したところを注目して選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな気持ちで読んだのか考える。 ・主人公の気持ちも考える。 <p>5 自分の気持ちがわかる言葉で感想を書き、付箋に書く。</p> 	個人 個人 個人	<p>◆自分が面白いと思った場面について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んだり、感想を書いたりしている。(観察・発言・付箋)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>改善ポイント</p> <p>児童が付箋に書く際、内容や量を吟味させる。</p> </div>
	<p>6 隣の人と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の人に自分の選んだ場面と理由を聞いてもらう。 ・わかりやすく書けているか、感想を伝え合う。 	グループ	<p>* 自分の考えや友達への感想を付箋に書いて「見える化」することで、自分と友達の考えが明確になり、感想の比較が容易になることで、交流が活発になることを狙った。</p> <p>◆感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、本や文章を読んで感想を書く際に用いている。(観察・発言・付箋)</p>
まとめ 5 分	<p>7 本時の振り返り</p> <p>■主人公の会話から、お気に入りのところを選ぼう。読んだ感想を付箋に書けた。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>会話からお気に入りのところをえらび、感想を書くことができた。</p> </div> <p>○これからへの意欲付け</p> <p>■もっと、友達におすすめの本を紹介したいな。</p>		

(3) 本時の評価

◇評価規準の具体 (評価方法～観察, 発言, 付箋)

【読むこと】

十分に満足できる (A) : 自分が面白いと思った場面について、登場人物の特に会話に着目し、会話の言葉から物語の背景を考えたり、想像を広げて読んだりしている。付箋には自分の感想を表す言葉を的確に選んで書いている。

おおむね満足できる (B) : 自分が面白いと思った場面について、登場人物の特に会話に着目し、会話の言葉から想像を広げて読んでいる。付箋には、自分の感想を表す言葉を選んで書いている。

努力を要する児童への指導 : 自分が面白いと思った場面を見つけるために、登場人物の会話文に着目させる。その会話の言葉からイメージできることを考えさせ、当てはまる言葉をこれまでの学習で見つけてきた表現の中から選ばせる。付箋には選んだ言葉を使い感想を書くように助言する。

4 取り入れたアクティブ・ラーニングの視点と授業改善のポイント

(1) 授業のねらい

【アクティブ化シートA (単元レベル)】

教科書教材スイミーを学習し、並行読書にその学習を生かす単元構成を行った。本時と同様、前時でも登場人物の気持ちが分かる会話文に着目して、サイドラインを引く学習をしている。前時と同じ展開で学習が進むため、より子どもの思考が切り替えやすくなると考えた。

【アクティブ化シートB-② (対話重視)】

感想ブックを読んだ感想を、付箋に書いて貼ることで、相手に気持ちを伝えるとともに、文として残すことができる。それによって交流の場面で、その場になくても、個々の児童がどのように感想を捉えたのかみとることができると思う。

(2) 成果

【アクティブ化シートA(単元レベル)】

○教科書教材と並行読書の2作品について、行動と会話の読み取りを2作品交互に行ったことで、児童にとってサイドラインを引く観点が伝わりやすく、学習がスムーズに進んだ。低学年にとっては、同じ学習活動を続けて繰り返し行うという単元構成が効果的であった。

【アクティブ化シートB-② (対話重視)】

○感想を付箋に書いたことで、友達の感想を目に見える形で残すことができ、互いの意見をより深く理解した交流を行うことができた。

(3) 改善

改善のポイント～付箋の内容、量の吟味～

付箋をきっかけとした交流は効果的であったが、詳しく書きすぎて時間が足りなくなったり、読み上げるだけの交流になったりしている様子が見られた。付箋はあくまでも交流のきっかけ作りとなるよう、今後は付箋に書く内容を吟味し、キーワードで書くなど言葉を選択する力を付けていく必要がある。また、書ききれない分は、自分の考えを言葉で補っていく力を付けさせる必要がある。

